

茨城県弁護士会憲法シンポジウム

主催：茨城県弁護士会

共催：日本弁護士連合会・関東弁護士会連合会

第64回日本弁護士連合会人権擁護大会プレシンポジウム

デジタル社会と憲法



山本龍彦慶応義塾大学教授



若江雅子読売新聞編集委員

日時 2022年7月2日(土) 13:30～16:00

● Zoom ウェビナーによるオンライン開催（視聴無料）

ZoomのURLとQRコード、パスコード、IDは下記の通りです。

ウェビナーURL：

<https://us06web.zoom.us/j/84229864096?pwd=ZEkrd3BYK1Z3TG96aWNJUkRZZ2gxdz09>

パスコード：KSn9iM ウェビナーID：842 2986 4096



当日、直接入力の上、ご視聴ください。

事前登録は、不要です。

茨城県弁護士会ホームページからのご案内できます。

問い合わせ先：茨城県弁護士会 茨城県水戸市大町2-2-75

電話 029-221-3501

【企画趣旨】

インターネットの発達による、社会のデジタル化は急速に進んでいます。

GAF A 等の巨大デジタルプラットフォーマーは、私たちの生活を大きく変えました。

しかし、便利さの陰で、個人のプライバシーが無制限に害される危険も生じています。

また、フェイクニュースや真偽不明の情報の拡大は私たちの政治的な選択にも影響を与え、民主主義や国民主権原理にも影響を与える恐れもあります。

絶え間なくデジタル化する世界について、憲法の見地から、山本龍彦先生にお話いただきます。

さらに、ご講演に先立ち、「膨張 GAF A との闘い」(中公新書ラクレ) 等の著作のある若江雅子読売新聞編集委員に GAF A 等の巨大デジタルプラットフォーマーの現状と課題について、ご報告いただきます。

【内 容】

- ① デジタルプラットフォーマーの現状と課題についての報告
(若江雅子読売新聞編集委員)
- ② 山本龍彦慶應義塾大学法科大学院教授による講演
- ③ 質疑応答 等

【山本龍彦教授 プロフィール】

1976 年生まれ。慶應義塾大学法学部卒業。慶應義塾大学法学研究科博士課程単位取得退学。慶應義塾大学博士(法学)。慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート(KGRI) 副所長。総務省「プラットフォームサービスに関する検討会」委員、経済産業省「データの越境移転に関する研究会」座長なども務める。主な著書に、『憲法学のゆくえ』(日本評論社、共編著)、『おそろしいビッグデータ』(朝日新聞出版社)、『AI と憲法』(日本経済新聞出版社)、『憲法学の現在地』(日本評論社、共編著) などがある。

【若江雅子読売新聞編集委員 プロフィール】

読売新聞東京本社編集委員。1988年に読売新聞入社後、北海道支社を経て社会部で警視庁、公正取引員会など担当。2008年からIT問題を担当。2019年に情報セキュリティ大学院大学で情報学修士修了。